

# 神杉自治連だより

## 東部地区まちづくり講演会開催

『暮らし続けた魅力ある地域を作るには』



東部地区自治連合会連絡協議会  
(田幸・川西・和田・神杉)は、2月17日(土)、広島県立歴史民俗資料館研修室で、明治大学 小田切徳美教授をお迎えして、まちづくり講演会を開催しました。

小田切教授は以前から三次市と関係が深く、東部地区以外からの参加者も是非お話を聞きたいと18名が来られ、総勢68名が熱心に耳を傾けておられました。内容は、

- ① 地域をめぐる問題概況
- ② 魅力ある地域づくりの実践
- ③ 魅力ある地域づくりの到達点
- ④ 新しい地域の展望

この4点について話されました。



地域をめぐる問題としては、人(心)の空洞化、土地利用の空洞化、村の空洞化。この3つの空洞化が進んでいる。この背景として中山間地域に住み続ける意味や意識を見失っているのが現状。対応としては、魅力ある地域づくりの実践を行う必要があり、実践の積み重ねが大事であるということでした。

神杉地区自治会連合会  
TEL 66-1323  
2024/3/11 発行  
2月末(前月比)  
人口 1,490 (-3)  
世帯 606 (±0)  
ホームページ  
kamisugi@m-city.jp



そのためには、人材づくり、地域づくりのプロセスを描く。そのことを行うに当たっては、当事者意識を持つ人々の仲間づくり、話し合い・交わり合う場をつくる。その中で目標を決め、達成するためのプロセスを策定し5W1H(いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように)で、繰り返し実践していくことが必要である。

地域づくりの到達点として、

- ① 仕事を起こす **起業化**
  - ② 古い仕事を新しく継ぐ **継業化**
  - ③ 仕事を持ち込むIIサテライトオフィス **移業化**
  - ④ 仕事を組みあわせる **多業化**
- などを意識して到達点を考える。これらの積み重ねによって、何かが変化し関係人口の増加や、移住増加が見込める。

新しい地域の展望は、にぎやかな過疎を目指し、

- ① 地域づくりに取り込む地域で仕事を作る
  - ② 何かに関わられるように動く
  - ③ SDGSにより地域貢献を探る
  - ④ NPOや大学等と関わりを持つ
- これらを念頭に置いて持続化を図って行くべきであるとお話でした。

これからのまちづくりに色々と参考になる内容で、有意義な講演会でした。

今後このような講演会があるかと思えます。多くの方の参加を希望します。そして一緒にまちづくりを考えていきましょう。

また当日は、各地区集落支援員さんの活動報告のパネル展示もあり、神杉地区からは、廣川幹二集落支援員さんが、神杉大田植について、概要や写真コンテストの入賞作品を紹介されました。

展示を見られた方は、まだ大田植に行ってみたことがないので、今年行ってみようかなと言われる方もおられ、とても良いPRになったと思います。



神杉地区のパネル展示



各地区の活動報告のパネル展示

## 第19回神杉大田植各専門部会報告

6月9日(日)に開催予定の第19回神杉大田植に向けて各専門部会が開催され、活動が始まりました。

★イベント部会(部長 平田和彦さん 副部長 日熊 学さん)では、地元新鮮野菜販売やJ A女性部による出店等例年おこなっているものに加え、大谷翔平さんから贈られたグローブの展示や、体験・交流田植えでの早乙女さんの仮装なども検討に上がっています。

★広報部会(部長 前原時男さん 副部長 山越弘美さん)では、多くの参加者、見学者に会場していただくことを目指し、神杉の最も特徴のある事業として、役割り分担を明確にし、地区内外に広く広報していくことを決定されました。

★サゲ部会(部長 林 俊之さん 副部長 中藤博文さん)では、華やかさと唄と早乙女さんの所作、タイミング合わせが重要であることから、唄い手、太鼓、鐘の担当や練習日等を決定されました。小学校6年生の参加も期待しています。

★総務部会(部長 日高康雄さん 副部長 福田博明さん)では、大田植の華である早乙女さんの募集方法と、開会式の内容や当日のタイムスケジュールを確認し、総合的にスムーズに運営できるように検討しました。

★アトラクション部会(部長 内藤孝治さん 副部長 向井一彦さん)では、主に代みて行事の内容、演芸出演グループの選定とお楽しみ

抽選会について話し合いました。演芸は、神杉よいとこ振興保存会のグループが出演することになり、これからますます練習に励まれます。お楽しみ抽選会は、地元の特産品を中心とした賞品となりました。

どの部会も神杉大田植の成功と皆さんに喜んでいただけるよう部会を重ねて参ります。



### 早乙女さん募集

大田植の花形の早乙女さんを募集します。過去に参加された方は、「最初はちよつと気が乗らんかったけど、最後は楽しかったよ。」と、笑顔で田んぼから上がって来ておられました。

是非早乙女に参加して、一緒に盛り上げてください。一生の思い出になると思います。

### 新鮮野菜市出品者さん募集

毎年大田植には、地区内外から新鮮野菜を求めて多くの方が来場され、早い時間に完売しています。一つでも多くの品物の出品にご協力ください。

### 神杉のおいしいもののお店募集

大田植にご来場いただいた皆さんのお腹を満たしていただける出店者さんを募集します。

神杉大田植の思い出の演出にご協力をお願いします。

●お問い合わせ 神杉自治会館 66-11323

## 県大生といっしょに

### 手作りチョココレート菓子教室



2月10日(土)、今年も県立広島大学とのコラボ企画で、生役の学生さん3名を招いて、手作りバレンタインチョココレート菓子教室を開催しました。

神杉小学校5・6年生に参加を呼びかけたところ、6年生の男女各4名とJ A女性部さん2名が参加され、チョコスコーンとミニベイクドチーズケーキの2種類のお菓子を作りました。

男の子グループと女の子グループに分かれ子どもたちは県大生から手順と所要所のポイントを聞いて作業開始。県大生の優しい手ほどきと、子どもたちの手際の良さで、あっという間に2種類が出来上がり、用意していただいたかわいい袋に詰めてラッピングまで完成しました。少し食べさせていただきましたが、とてもおいしかったです。6年生の子どもたちも卒業前に良い思い出になったことでしょう。

これからも県立広島大学とコラボして、神杉の特産品の開発や、イベントへの出店、子どもたちとの関り等、連携を密にしていきたいと思っています。

ちなみに昨年の夏休みキッズチャレンジで県大訪問は、とても好評でした。



## 神杉地区親善 ソフトバレーボール大会で汗をかく



2月25日(日)、神杉小学校体育館で神杉地区親善ソフトバレーボール大会を開催し、20名が参加されました。初めに6年生の号令で準備体操をしました。

柔軟体操では、180度開脚してお腹が床につく子どもがいて、ビックリ!!

いきなり試合に入るにはちよつと無理があるというところで、まずはパスとレシーブの練習をし、3チームに分かれて総当たり戦をしました。試合を始めてみると今度はサーブがうまく入らないというところで、急ぎよサーブの練習も入れました。子どもたちの上達ははやく、ボールもつなげられるようになり、やつとソフトバレーボールの試合らしくなってきました。大人も子どもに負けてはられないので、汗をかきながらボールを追っている姿は、とても微笑ましい光景でした。

勝ったり負けたり、和気あいあいと親睦を図り、ケガもなく無事に終了しました。

大人の皆さんは、次の日筋肉痛は大丈夫だったでしょうか。



## 3年生児童とシイタケ植菌作業



尾首山憩いの森づくり実行委員会(会長三原和美さん)は、2月20日(火)、神杉小学校3年生15名を対象に、シイタケの植菌体験を尾首山憩いの森で行いました。

当日は天候を心配しましたが、雨も降らず予定通り開催できました。

子どもたちは4班に分かれ、原木への穴あけ作業、その穴へ駒菌を差し込み、木槌で打ち込む作業の説明を聞き、実際に実行委員がやってみせ、それぞれ児童にも体験してもらいました。



まず、電気ドリルでの穴あけを全員に体験してもらいました。電気ドリルを使用するのはもちろん初めてのことで、おっかなびっくり。それでも実行委員の指導で徐々に腰も入って構えも良くなり、上手に穴をあけることができました。

52本の榎木にシイタケの駒を丁寧に打ち込みケガ無く終了しました。

2年後、今回の3年生が5年生になった時、収穫体験ができる予定です。楽しみですね。そして、毎年6年生は卒業式前に榎木を家庭に持ち帰り、家族で収穫して味わってもらっています。



## 幹ちゃんの集落支援員情報

### 「実家へ帰ろう!」のススメ

住む人がいない家屋の管理、庭、草刈りなど家の周りの維持管理を定期的に家族や親族の人が行なっている「管理家屋」が見受けられます。

神杉地区も例外ではありません。近い将来、家族(子・孫・親族)が実家にいつでも帰られるように、との思いで実家の管理をされています。管理されている方々の高齢化も進んでいます。

いろんな事情はあるでしょうが、このまま「実家」、大切な「資産」が住む人がいないためにダメになるのは、もったいなくて残念ではありません。住む人があれば「住まい」資産は守られると思います。

実家を離れている家族の皆さんも、それは十分承知しておられることと思いますが、帰ってこられる事情があれば、今の住まいを整理して「実家へ帰ろう」と考えてみてください。

生まれ育った山、川、森、田んぼの風景。共に育ち遊んだ同級生、先輩、後輩。お世話になっている地域の人々。いずれにしても馴染みのあるふるさとです。

帰るとなれば費用の負担は伴いますが、何かあったらすぐに住むことができ、安心できる「実家」の存在があります。それを期待し管理しておられる家族や親族の人がおられます。実家に帰れば地域の人は安心され、喜ばれます。

### ふるさと神杉の「実家へ帰ろう!」



### 3月 講座・行事・会議予定

- 12日(火) 舞踊 三味線 大田植専門部正副部長会議  
公衆衛生生活安全部会
- 13日(水) パン教室
- 14日(木) 大正琴 社会福祉部会  
青少年育成子育て支援部会
- 15日(金) パッチワーク カラオケ
- 17日(日) グラウンドゴルフ月例会
- 18日(月) 神杉わくわく講座(源光寺さんのお話)
- 19日(火) 舞踊 三味線 大田植総務部会  
小学校卒業式
- 21日(木) 俳句 新自治会長会議
- 22日(金) パソコン カラオケ
- 24日(日) 神杉ミニバスケットスポ少お別れ会
- 25日(月) 社交ダンス 小学校修了式・離任式
- 26日(火) 舞踊 三味線
- 27日(水) 書道
- 28日(木) 絵手紙 神杉まるごと推進会議
- 29日(金) 生花

### 4月 講座・行事・会議予定

- 2日(火) 舞踊 三味線
- 3日(水) 書道
- 4日(木) 大田植実行委員会
- 5日(金) パッチワーク
- 8日(月) 社交ダンス 小学校入学式
- 9日(火) 舞踊 三味線  
子ども110番の家あいさつ・通学路点検
- 10日(水) パン教室 広報紙配布



### 道路が広くなりました



神杉保育所建設時の約束事項として、約5年経過しましたが、神杉小学校正門前から自治会館前までの道路拡張工事が無事終わり、とても広く、左右の見通しも良くなりました。

工事中は、皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

#### 編集後記

早くも年度末の3月になりました。今年の冬は雪が少なく、個人的にはとても助かりました。また、被災された能登の人たちにも良かったのではないのでしょうか。しかし、スギ花粉は例年の4倍とか・・・目はかゆいし鼻はムズムズ。これから花粉も春も本番です。農家の皆さんには、畑や田んぼの準備が始まりますね。まずは冬の間に縮こまった体を太陽に向かって少し伸ばしてみましよう。そして大きく深呼吸を。

⑦

### 給食サービス実施



神杉地区社会福祉協議会(会長 住田彰宣さん)は、3月2日(土)給食サービスを実施しました。対象者は、75才以上のお一人暮らしの方、75才以上の高齢者世帯、その他民生委員さんが認められた方等で、今回は115食用意しました。

地元の旬の食材を使ったバラ寿司、煮物、白和え、かき揚げ、フルーツ等を彩りよく盛り付け、即席のお吸い物を添えてお配りしました。

「お元気ですか。お変わりありませんか。」  
「いつもありがとう。いただきます。」

何気ない会話の中に安否確認を兼ねています。



### 愛の灯

令和六年二月一日から同月末日まで  
次の方からご寄付が寄せられました

神杉地区社会福祉協議会へ

《香典返し》

七区 林 俊之 様

(亡母 林 シカ子 様)

紙面をおかりしまして、  
衷心より厚くお礼申し上げます



### 山脈句会(二月)

みやと

夫婦して我が家の味のみそ仕込み

田原 洋子

笛の音や春まだ浅し蛙鳴く

中藤 博文

能登の地に届け春の陽民の声

住田東洋男

九才が声張り上る「鬼は外」

広川テル子

吹雪く中一人で歩む田舎道

高松 英子

陽射し浴び眩しそうな春の川

中本 好美

